

# 資料館だより

## CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告
- 3… 雑感／新規移管・寄贈資料
- 4… 特別講演会報告／開催案内

とうきいぐそく  
当世具足  
こんぐそくいどおしにまいどうぐそく  
「紺具足系威二枚胴具足」

## TOPICS

### 資料館特別展「ガラスの博物誌」を開催



見学者に説明する奥野館長(右から2人目)

資料館展示室において、平成28年10月12日(水)から11月30日(水)まで特別展「ガラスの博物誌」を開催しました。

この展示は、現代社会の様々な分野で利用されている「ガラス」について、多角的に紹介し、理解を深めていただくことを目指して企画したものです。

ガラスの起源のほか、奈良・正倉院に所蔵されている歴史的ガラス器を写真とレプリカで紹介するとともに、その伝来ルートも紹介しました。

また、本学理工学域の協力の下、自然界に存在するガラス質の鉱物及び生物についても展示し、本学埋蔵文化財調査センターの協力を得て、角間キャンパスから出土した9世紀ごろに西アジアで製造されたと思われる紺色ガラスビーズも展示しました。

資料館の所蔵品としては、西村コレクションの中から古代ペルシャガラス器と旧制第四高等学校旧蔵の「硝子製造順序標本」を展示し、紹介しました。

そのほか、旭硝子株式会社の協力を得て、現代における板ガラスの製法を解説し、代表的な板ガラスとスマートフォン等で使われている化学強化ガラスについても展示しました。

今回の展示は、一般的なガラス工芸品の展示とは一味違ったアプローチで、新聞やテレビでも紹介されるなど多くの方に注目いただき、好評のうちに終了しました。

なお、本展示会の内容については、図録「ガラスの博物誌」として資料館Webサイトの「刊行物」に掲載していますので、関心のある方は、こちらをご覧ください。

## 展示活動報告

アウト  
リーチ展

### 「旧城内キャンパス企画展」開催

- ・よみがえる城内キャンパス(写真展)
- ・破かれた恋愛小説(企画展)

会期 平成28年10月25日～11月4日 会場 金沢城公園河北門



本学のホームカミングデイに合わせて金沢城公園で開催している恒例の資料館出張写真展を本年度は会場を鶴の丸休憩所から河北門に移し、昨年度に好評だった学生企画展「破かれた恋愛小説」を一部リニューアルして「旧城内キャンパス企画展」として開催しました。

わずか11日間の展示でしたが、1万人以上の入場者があり、かつての城内キャンパスの様子に一般市民の方が懐かしそうに見入る姿や「破かれた恋愛小説」の題材である新聞連載小説「寒潮」に関する問合せが市民からあるなど、大きな反響がありました。

美術展

### 「i-Acanthus Art 2016」開催

会期 平成28年11月7日～11月30日 会場 資料館展示室

昨年度に引き続き、人間社会学域学校教育学類美術教育専修の学生、教員及び卒業生による展覧会が資料館展示室で行われました。

会場には、絵画、彫刻、デザイン、写真などの作品約30点が展示され、卒業生などが鑑賞に訪れました。



アウト  
リーチ展

### 「キキー四高生が100年前に使った科学実験機器」開催

会期 平成28年12月1日～12月26日 会場 石川四高記念文化交流館

資料館は、石川県立自然史資料館とのコラボ企画で、石川四高記念文化交流館を会場にアウトリーチ(出張)展「キキー四高生が100年前に使った科学実験機器」を開催しました。

旧制第四高等学校の科学実験機器は、現在、資料館と石川県立自然史資料館が収蔵しています。その中から十数点を選び、旧制第四高等学校の校舎であった石川四高記念文化交流館で展示するという意欲的な試みです。

会場が街中にあるということもあり、多くの方にご覧いただきました。



資料整理を通して感じたこと

私は、資料館でアルバイトとして資料整理を行っています。具体的には、資料調査や資料カードの作成・写真撮影・梱包等です。金沢大学資料館には様々な資料が収蔵されていますが、その中では金沢大学の前身である第四高等学校の資料が多くを占めています。それらの中には明治時代・大正時代の資料も多数有り、それらに接することは貴重な経験となっています。時代の変化に伴い、今現在と異なっている点は様々にありますが、四高から金沢大学になってもなお、私たちの世代まで四高の歴史が連綿と続いていることを感じます。また、学芸員資格取得を目指す私にとって、資料の扱い方や梱包の仕方、整理の方法を学べることもとても有意義なことだと思っています。資料整理の業務に携わってから1年以上経過しましたが、毎日が新しい資料との出会いであり、発見の連続です。



私は、資料から得られる知識や感慨は、過去に対するものだけではないと思っています。資料は過去の物であっても、過去の資料を見ることで、現代を相対化し、今という時代と向き合うことができるのではないのでしょうか。

現在も寄贈・移管により、四高の資料は増え続けています。資料を寄贈して下さった卒業生の方々は、特に、母校への思いが強いように感じられ、そのような方々の思いを受け止め、しっかりと資料調査・資料整理をしていかなければならないと強く思います。

貴重な資料を整理し、多くの方々に鑑賞してもらい、そして後世へと残していくことは、私たちが担っている重要な役割です。多くの人々が資料館へ足を運び、金沢大学についてよりよく知り、博物館に対する興味を持っていただけるように願っています。

人間社会学域人文学類3年 浅香万由子

平成28年8月～11月  
移管・寄贈資料

今期も貴重な資料を寄贈していただきました。当館にて大切に保管し、活用させていただきます。改めて感謝申し上げます。

寄贈

- ・トンビコート(参考資料)

浅田政義氏



## 講演会実施報告

### 特別講演会

## 「私のガラス研究50年 ―古代ガラスから現代の先端技術まで―」を開催

特別展「ガラスの博物誌」の開催に合わせて、展示にもご協力いただいたガラス研究で著名な「箱根ガラスの森美術館」顧問の由水常雄氏をお招きし、平成28年11月15日(火)に中央図書館AV室で、資料館特別講演会を開催しました。

同氏は、融点が異なるガラスを接合することが古代の技術では可能であったが、その技術の伝承が絶えて現代の技術では困難になっていることなど興味深いお話をされ、集まった聴衆を魅了しました。



## 開催案内

### 学生 企画展

## 「ハカリモノ―文系学生が紹介する科学実験機器―」

会期 平成28年12月9日～平成29年3月8日 会場 資料館展示室

12月9日(金)から平成29年3月8日(水)まで学生企画展「ハカリモノ―文系学生が紹介する科学実験機器―」を資料館展示室で開催しています。

この企画展示は、本年度に「博物館実習」を受講している学生たちが、これまで学んできた博物館学の理論及び学外での館園実習の実践経験を踏まえ、テーマ選定からポスターデザイン、パネル作成及び資料の選定・展示に至るまでほぼ全ての学芸員業務を自ら行った成果発表です。



準備の様子



また、この期間に、学生が企画した連携コンサートやワークショップを併せて開催しています。

ぜひ、足を運んでいただき、学生の力作をご覧ください。

### 編集後記

学芸員の笠原です。博物館実習を受講する学生がつくりあげる企画展は、今年で三年目を迎えました。毎回、テーマは異なりますが、いずれも学生ならではの斬新で意欲的な企画展です。自分自身でも展示を企画しますが、学生たちのアイデアとパワーには驚かされるばかり。全国でもまれな学生による企画展に、今後も期待しています。(笠原健司)

金沢大学資料館だより  
第52号 平成29年1月25日発行



発行/編集 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町  
TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050  
Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

<http://museum.kanazawa-u.ac.jp>